



「釧路の環境が大好きだ」といふ二橋さん

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

□下□

芸術大学音楽部作曲科へ進み、卒業後に渡仏。名門のパリ国立音楽院和声法科で3年間、作曲理論の対位法などを学ぶ。第5回マルセル・ジョセ国際作曲コンクール第1位、武井賞(2回)などの賞を国内外で受賞、その実力が評価されている。釧路音楽協会高後賞も受賞している。

新曲づくりに意欲

現在は札幌の音楽

音楽文化向上に活躍

異動後も往復の日々
道教大釧路校から「音楽・美術・体育」の教科に特化した岩見沢校に異動したものの、「釧路が大好き。いろいろな活動がしやすい。人とのつながりから自分にとって音楽を自由にできる環境がここにある」と、創設40周年を迎えた「百合の花合唱会」の指導をはじめさまざまな

による会「アールクシリアン」の代表、さらにはギター曲の作曲も手掛け日本ギター合奏連盟会長を務めている。

出身は静岡県浜松市。信愛学園高校音楽科(1期生)から東京

2009年10月には百合の花合唱会の第10回リサイタルで、自ら作曲した全15曲の「レクイエム」を披露した。釧路小学校の校歌、釧路ゆっやけライオンズのオリジナルソングなども作

ガン奏者が演奏する新曲づくりに着手。6月にお披露目の予定で「大変に実力のある演奏者なので良い作品に仕上げたい」と意欲を燃やしている。

二橋 潤一さん(60)
(岩見沢市)

作曲

(伊東義晃)